

欧州特許庁（EPO）、2020年の特許統計を公表

2021年3月16日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2021年3月16日、2020年の特許統計（Patent Index 2020）をプレスリリース及びニュースリリースにて公表した。

本プレスリリース冒頭等には、例えば以下の点が挙げられている。

- パンデミックにもかかわらず、EPOでの特許保護に対する安定した需要
- ヘルスケア分野の特許出願件数が増加、運輸分野の件数は減少
- 上位5か国（出願人居住国別特許出願件数）は、米国、ドイツ、日本、中国、フランス
- 中国及び韓国からの特許出願件数が大幅に増加；欧州、日本及び米国からの特許出願件数は減少
- サムスン、ファーウェイ、LGが上位3出願人（出願人別特許出願件数）

また、本プレスリリース及びニュースリリース等の概要は、以下のとおりである。

ヘルスケア分野のイノベーションが2020年の欧州特許出願の主な原動力

EPOが本日発表した統計によると、ヘルスケア分野のイノベーションが2020年の特許取得活動を牽引した。特許出願件数に関しては、「医療技術」がトップの技術分野であり、「製薬」及び「バイオテクノロジー」が最も成長した技術分野であった。

パンデミックにもかかわらず、2020年に提出された欧州特許出願の総件数は、前年とほぼ同水準で、0.7%の減少となった。EPOは2020年に合計180,250件の特許出願を受理した（表1）ところ、これは2019年に達成された過去最多の水準（181,532件）をわずかに下回った。

（表1：2020年のEPOへの欧州特許出願件数）

出願種別	件数（前年比増減率）
EPOへの欧州特許出願件数（合計）	180,250件（-0.7%）
直接欧州出願件数	73,464件（-3.1%）

欧州域内段階へ移行した PCT 出願件数	106,786 件 (+1.0%)
----------------------	-------------------

ライフサイエンス分野の発明が急増、デジタル技術は引き続き堅調、運輸は減少

主な技術分野（表 2）のうち、特許出願件数が最も増加したのは「製薬」（+10.2%）及び「バイオテクノロジー」（+6.3%）であった。「医療技術」（+2.6%）が、2020 年に特許出願件数で 1 位となり、2019 年に最も活発な分野であった「デジタル通信」からトップの座を取り戻した。

2019 年に最も成長した「デジタル通信（5G ネットワークを可能にする技術を含む）」及び「コンピュータ技術（AI 関連発明を含む）」は引き続き堅調な特許取得活動を示し、それぞれ 2 位（+1.0%）と 3 位（+1.9%）にランクインした。

一方、「運輸」の特許出願件数は最も減少した（-5.5%）（特に航空・宇宙分野（-24.7%）及び自動車分野（-1.6%））。

（表 2：2020 年の技術分野別特許出願件数（上位 10 技術分野））

順位	技術分野	件数（前年比増減率）
1 位	医療技術	14,295 件（+2.6%）
2 位	デジタル通信	14,122 件（+1.0%）
3 位	コンピュータ技術	13,097 件（+1.9%）
4 位	電気機械・電気装置・電気エネルギー	11,346 件（+0.4%）
5 位	運輸	9,020 件（-5.5%）
6 位	製薬	8,589 件（+10.2%）
7 位	計測	8,582 件（-5.2%）
8 位	バイオテクノロジー	7,246 件（+6.3%）
9 位	その他の特殊機械	6,261 件（-2.5%）
10 位	有機化学、農薬	5,905 件（-1.5%）

中国及び韓国が急成長

2020 年の出願人居住国別特許出願件数（表 3）の上位 5 か国は、再び、米国（44,293 件）、ドイツ（25,954 件）、日本（21,841 件）、中国（13,432 件）及びフランス（10,554 件）であった。しかし、成長率にはかなりのばらつきがあった。

2019 年と同様に、上位 10 か国のうち特許出願件数が最も増加したのは、中国（+9.9%）及び韓国（+9.2%）であった。中国企業は、「バイオテクノロジー」、「電気機械・電気装置・電気エネルギー（クリーンエネルギー技術に関する多くの発明が出願されている技術分野）」及び「デジタル通信」の技術分野においてより多くの特許出願をした。韓国企業は、特に「電気機械・電気装置・電気エネルギー」、「通信」、「半導体」及び「コンピュータ技術」の技術分野において活発であった。

逆に、EPOでの全出願の4分の1を占める米国の特許出願人については、2020年には出願件数は4.1%減少し、「運輸」、「電気機械・電気装置・電気エネルギー」及び「有機化学、農薬」の技術分野において大幅に減少した。

日本からの特許出願件数は2019年に比べ1.1%減少し、「運輸」及び「光学機器」の技術分野において最も大きく減少した。日本の出願人による技術分野別特許出願件数の上位3技術分野は、「電気機械・電気装置・電気エネルギー（2,009件（+4.6%）」、「運輸（1,411件（-9.6%）」及び「デジタル通信（1,375件（+10.6%）」であった。

（表3：2020年の出願人居住国別特許出願件数（上位10か国））

順位	出願人居住国	件数（前年比増減率）
1位	米国	44,293件（-4.1%）
2位	ドイツ	25,954件（-3.0%）
3位	日本	21,841件（-1.1%）
4位	中国	13,432件（+9.9%）
5位	フランス	10,554件（+3.1%）
6位	韓国	9,106件（+9.2%）
7位	スイス	8,112件（-1.9%）
8位	オランダ	6,375件（-8.2%）
9位	英国	5,715件（-6.8%）
10位	イタリア	4,600件（+2.9%）

欧州からの出願は減少したが、フィンランド・フランス・イタリアについては増加

EPOの38加盟国の企業・発明者による2020年の特許出願件数は、81,000件を超えたが、1.3%減少した。これは、「計測（センサー技術を含む）」（-10.4%）、「有機化学、農薬」（-3.6%）及び「電気機械・電気装置・電気エネルギー」（-2.8%）などの技術分野における出願件数が減少したためである。しかし、「製薬」（+15%）及び「バイオテクノロジー」（+4.5%）の技術分野においては、EPO加盟国の出願人による特許出願件数は増加した。

国別では、欧州最大の出願人居住国であるドイツからの特許出願件数は3.0%減少したのに対し、フランスとイタリアからの特許出願件数はそれぞれ3.1%と2.9%増加した。また、フィンランドからの特許出願件数は、デジタル技術の発明が大幅に増加したことにより、11.1%増加した。

5つの欧州企業が上位10出願人にランクイン

出願人別特許出願件数のランキング（表4）も、中国及び韓国からの特許出願件数の持続的な成長を反映している。サムスン（3,276件）がトップで、前年トップであったファーウェイ（3,113件）が2位、LG（2,909件）が3位となった。上位10出願人には、欧州

から 5 社（2014 年以降で最多）、韓国から 2 社、中国・日本（ソニー（8 位））・米国からそれぞれ 1 社含まれている。

（表 4：2019 年の出願人別特許出願件数（上位 10 出願人））

順位	出願人（居住国）	件数
1 位	サムスン（韓国）	3,276 件（前年 2 位）
2 位	ファーウェイ（中国）	3,113 件（前年 1 位）
3 位	LG（韓国）	2,909 件（前年 3 位）
4 位	クアルコム（米国）	1,711 件（前年 6 位）
5 位	エリクソン（EPC 加盟国）	1,634 件（前年 7 位）
6 位	シーメンス（EPC 加盟国）	1,625 件（前年 5 位）
7 位	ロバート・ボッシュ（EPC 加盟国）	1,597 件（前年 10 位）
8 位	ソニー（日本）	1,477 件（前年 9 位）
9 位	フィリップス（EPC 加盟国）	1,419 件（前年 8 位）
10 位	BASF（EPC 加盟国）	1,305 件（前年 11 位）

※その他、上位 11～50 出願人に含まれる日本企業は以下のとおり：

17 位：パナソニック（792 件）、25 位：三菱電機（647 件）、27 位：キヤノン（612 件）、31 位：日立（582 件）、49 位：東芝（419 件）

2020 年の特許統計において公表されているその他のデータは、例えば以下のとおりである。

欧州特許付与件数

（2020 年の合計）

133,715 件（前年比 3.0%減）

（表 5：2020 年の特許権者居住国別欧州特許付与件数（上位 10 か国））

順位	特許権者居住国	件数（前年比増減率）
1 位	米国	34,162 件（-1.3%）
2 位	日本	20,230 件（-9.8 %）
3 位	ドイツ	20,056 件（-5.4%）
4 位	フランス	8,397 件（-4.6%）
5 位	韓国	7,049 件（-2.7%）
6 位	中国	6,863 件（+10.2%）
7 位	スイス	4,899 件（+2.7%）
8 位	英国	4,004 件（-2.8%）

9位	オランダ	3,962件 (-8.4%)
10位	イタリア	3,813件 (+2.7%)

特許付与手続の適時性

適時性	2019年	2020年
サーチの適時性 ¹	4.1月	4.3月
審査の適時性 ²	26.1月	23.7月
異議手続の期間 ³	17.5月	15.4月

詳細な統計については、[Patent Index 2020](#)を参照されたい。

— EPOのプレスリリース等は、以下参照 —

(プレスリリース)

[Healthcare innovation main driver of European patent applications in 2020](#)

(ニュースリリース)

[Healthcare innovation main driver of European patent applications in 2020](#)

(2020年の特許統計)

[Patent Index 2020](#)

(以上)

¹ 標準的なサーチについて、平均値

² 標準的な審査について、有効な審査請求から特許を付与する審査官の意図の通知までの期間から算出される平均値

³ 標準的な異議事件について、異議申立期間満了から決定の日までの期間から算出される平均値